

～小学生から一般まで7名の受講生が半年間の成果を披露～
「市民のためのオルガン講座」発表会 ご取材のお願い

水戸芸術館では、演奏を学ぶ機会の少ないパイプオルガンに親しんでいただこうと、2013年から「市民のためのオルガン講座」を開講しています。今年度が7回目となるこの講座には、全国で活躍中のオルガニスト、室住素子さん(当館音楽部門・元主任学芸員)を講師として、「実技レッスン」と「1回体験」のコースがあります。また、今年度から、「実技レッスン(初級コース)」を修了した方を対象とした「実技レッスン(中級コース)」を新設し、3名が受講しています。

今回の発表会は、「実技レッスン」初級・中級コース受講生の小学4年生から50代までの7名が、半年間にわたるレッスンの成果を披露します。

つきましては、レッスンの様子と発表会をぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

市民のためのオルガン講座

<発表会>

実技レッスン受講生による発表会

初級コース4名／中級コース3名 合計7名

2020年3月14日(土) 13:00開演

会場:水戸芸術館 エントランスホール

入場無料

*写真撮影、インタビュー可能

*当日は、窓口で広報担当をお呼び出してください

<レッスン公開日>

2020年3月2日(月) 14:00～16:00

会場:水戸芸術館 エントランスホール

*ご取材いただけます場合は、事前に広報担当までご連絡ください

*写真撮影、インタビュー可能

*当日は休館日ため、通用口から広報担当がご案内いたします

【曲目】 バルトーク:ルーマニア民俗舞曲 Sz.68より

J.S.バッハ:前奏曲とフーガ イ短調 BWV559

メンデルスゾーン:前奏曲とフーガ 第1番 ハ短調 Op.37 ほか

主催:公益財団法人水戸市芸術振興財団

◆「実技レッスン」初級コースでは、半年間・全12回のレッスンを通してパイプオルガンの基礎的な奏法を学び、発表を行います。中級コースでは、初級の奏法を身につけた方を対象に、より高度な曲にチャレンジします。

「1回体験」では、計12組がそれぞれ1時間ずつオルガン演奏を体験しています。



昨年の発表会より

お問い合わせ 取材について:水戸芸術館広報係(担当:鴨志田) Tel.029-227-8111
企画について:水戸芸術館音楽部門(担当:高巢) Tel.029-227-8118
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

市民のための オルガン講座

実技レッスン受講生による

発表会



Menaka Ono

1. 小野 愛佳

♪ J.S.バッハ：トッカータとフーガ
ニ短調 BWV565より トッカータ
♪ バルトーク：ルーマニア民俗舞曲
Sz.68より



Saya Nakahara

2. 中原 沙彩

♪ A.L.ウェバー：〈オペラ座の怪人〉
序曲
♪ モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・
コルプス K.615



Hiroko Toyoda

3. 豊田 博子

♪ J.S.バッハ：前奏曲とフーガ
イ短調 BWV559



Yumi Fujieda

4. 藤枝 由美

♪ J.S.バッハ：幻想曲 ト長調
BWV572



Hiroshi Terauchi

5. 寺内 弘志

♪ ブクステフーデ：前奏曲とフーガ
嬰へ短調 BuxWV146



Ikuko Aoki

6. 青木 郁子

♪ メンデルスゾーン：前奏曲とフーガ
第1番 八短調 作品37



Miyuki Okazaki

7. 岡崎 美幸

♪ フレッチャー：フェスティバル・トッ
カータ

市民のための オルガン講座とは…

エントランスホールに設置された
国産最大級のパイプオルガンを弾い
ていただける講座です。9月から半年
間かけてじっくり演奏法を学ぶ「実技
レッスン」と、1時間で気軽にご体験
いただける「一回体験」があり、今年
も実技レッスン7名、一回体験
12組の方がオルガンに
親しんでいます。

※公演の内容は、変更になる場合があります。

2020年3月14日[土] 13:00 開演/入場無料
水戸芸術館エントランスホール



講師の室住素子さん(オルガニスト)より

3月には、水戸芸術館のオルガンも30周年を迎えます。「市民のためのオルガン講座」は、卒業してもオルガンを続ける人が増えたので、今年度から、実技コースに中級コースが新設されました。初級コースの4人は、芸術館で12回レッスンを受けられますが、家での練習楽器はピアノかエレクトーン。紙の足鍵盤も使って、心の中で鳴る音を頼りに練習しています。中級コースの3人は、家に練習楽器を備えた人もいますが、レッスンは1人4回のみ。そんな困難さを抱えながらも、7人はオルガンの名曲に立ち向かっています。

その一途さが時折、祈りのように聴こえ、胸を打ちます。弾く喜びがエントランスホールに満ちる時もあります。発表会へのご来場を、心よりお待ち申し上げます。